本プログラムは、大学博物館の特性を生かしながら様々なジャンルの芸術活動に関わり、企画運営しつつアート・マネジメント人材を育てるプログラムです。博物館に収められているいわゆる〈ミュージアム・ピース〉の豊かさを引き出し、〈生きたアート〉として公開していく文化芸術ファシリテーターの育成を目指します。様々な〈ミュージアム・ピース〉を活用したり、また創造や収集したりすることで、地域社会との協奏による芸術実践の試みと基礎研究的な潜在力とを連動させた「リサーチ型ミュージアム」のあり方を探求します。演劇、音楽、美術、アートなどばかりではなく、自然科学の領域までカバーして、多様な文化領域のファシリテートに柔軟に対応できる人材育成のプログラムを用意しています。受講生は、新しい展覧会や、アート・イベント等を創出していって欲しいと思います。そしてそれが広く関西や日本の文化芸術シーンを活性化することにも繋がって行くことを期待しています。

本プログラムでは、1年を次の3つの期間に分けてプログラムを実施します。座学や学外での活動を経て、展覧会開催の実地も行います。
［第1期］全体的な理念、学知を学ぶ座学中心の学習期間
［第2期］①～⑦の活動にわかれて参加し、具体的な研修を行う期間
［第3期］研修成果を大学博物館において展示する期間

本プログラムは、展覧会の企画・開催・運営を最終的なゴールに見据え、演劇、音楽、美術、パフォーマンスなどの現代芸術を広くカバーして、多様な芸術ジャンルに対応できる人材育成を行い、単に実務面でのマネージメント能力のある人を育成するのではなく、コンセプトや内容にまで立ち入って企画運営に関与できる人材を育成するのが目的です。大阪大学総合学術博物館が主催し、大阪大学文学研究科との共催により、開講いたします。また本プログラムは平成29年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」による助成を受けております。
本プログラムは、近隣の兵庫県立尼崎青少年創造劇場 ピッコロシアター、能勢浄るりシアター、吹田市文化会館 吹田メイシアター、あいおいニッセイ同和損保 ザ・フェニックスホール、大阪新美術館建設準備室、公益財団法人 益富地学会館、豊中市都市活力部文化芸術課などの芸術諸機関の協力を得て行います。

「記憶の劇場II」年間予定

日程				活動名
［第1期］オープニング講座				
2017年				
7月22日（土）	♮	♭	#	①「「記憶の劇場II」オープニング講座」
［第2期］活動				
7月29日（土）				⑦「ドキュメンテーション／アーカイヴ」vol.2
9月1日（金）				⑦「ドキュメンテーション／アーカイヴ」vol.1
9月3日（日）	♮	♭	#	⑥「旅・芸の TELESOPHIA」
9月8日（金）				⑦「ドキュメンテーション／アーカイヴ」vol.1
9月9日（土）		♭		⑤「パフォーミング・ミュージアム Vol.2「くるみ座」を上演する」
9月10日（日）	♮	♭	#	②「地域文化の研究による発信・顕彰とメディアリテラシー」
9月16日（土）	♮	♭		①「「記憶の劇場」セミナー「大阪の記憶と未来」+博物館オリエンテーション」
9月30日（土）		♭		②「地域文化の研究による発信・顕彰とメディアリテラシー」
		♭		⑤「パフォーミング・ミュージアム Vol.2「くるみ座」を上演する」
10月7日（土）	♮	♭	#	③「自然科学に親しむ・触る・アートする～研究からアートそして発信～」
10月14日（土）	♮	♭	#	⑥「旅・芸の TELESOPHIA」
10月15日（日）				③「自然科学に親しむ・触る・アートする～研究からアートそして発信～」
10月21日（土）				
10月22日（日）		♭		②「地域文化の研究による発信・顕彰とメディアリテラシー」
10月28日（土）				③「自然科学に親しむ・触る・アートする～研究からアートそして発信～」
				⑤「パフォーミング・ミュージアム Vol.2「くるみ座」を上演する」
10月 ※調整中		♭		④「三輪眞弘『新しい時代』の再演」
10月（3回程）				⑦「ドキュメンテーション／アーカイヴ」vol.1
11月11日（土）				③「自然科学に親しむ・触る・アートする～研究からアートそして発信～」
11月18日（土）		♭	#	
	♮	♭		⑦「ドキュメンテーション／アーカイヴ」vol.2
11月26日（日）				
11月 or 12月 ※調整中		♭		②「地域文化の研究による発信・顕彰とメディアリテラシー」
11月 ※調整中		♭		④「三輪眞弘『新しい時代』の再演」
12月2日（土） 12月3日（日）				④「三輪眞弘『新しい時代』の再演」
12月8日（金） 12月9日（土）		♭	#	
12月9日（土）				⑦「ドキュメンテーション／アーカイヴ」vol.2
12月16日（土）	♮	♭	#	④「三輪眞弘『新しい時代』の再演」
		♭	#	⑤「パフォーミング・ミュージアム Vol.2「くるみ座」を上演する」
12月17日（日）	♮	♭	#	
12月24日（日）				⑦「ドキュメンテーション／アーカイヴ」vol.2
12月（土日） ※調整中	♮	♭	#	⑥「旅・芸の TELESOPHIA」
2018年				
1月14日（日）				⑦「ドキュメンテーション／アーカイヴ」vol.2
2月10日（土）				
［第3期］展覧会				
2月27日（火） ～ 3月16日（金）	♮	♭	#	①「展覧会『記憶の劇場II』」
3月10日（土）	♮	♭	#	①「「記憶の劇場II」クロージング・シンポジウム」

♮必修、♭受講生に公開、#一般に公開

連携機関アドバイザー

石橋　隆　公益財団法人益富地学会館研究員
尾西　教彰　兵庫県立尼崎青少年創造劇場（ピッコロシアター）業務部副課長
菅谷　富夫　大阪新美術館建設準備室研究主幹
古矢　直樹　吹田市文化振興事業団（吹田メイシアター）常務理事・事務局長
松田　正弘　能勢浄るりシアター館長
宮地　泰史　あいおいニッセイ同和損保 ザ・フェニックスホール 企画事業担当チーフ・マネージャー
本山　昇平　豊中市都市活力部文化芸術課振興係係長

事業担当者

永田　靖　大阪大学総合学術博物館・大阪大学文学研究科（事業推進者）
伊東　信宏　大阪大学文学研究科（事業推進者）
橋爪　節也　大阪大学総合学術博物館
上田　貴洋　大阪大学総合学術博物館
伊藤　謙　大阪大学総合学術博物館
横田　洋　大阪大学総合学術博物館・大阪大学文学研究科
渡辺　浩司　大阪大学文学研究科
古後奈緒子　大阪大学文学研究科
山﨑　達哉　大阪大学総合学術博物館・事務局

濱村　和恵　デザイン

主催：大阪大学総合学術博物館
共催：大阪大学文学研究科
連携：あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール
　大阪新美術館建設準備室
　公益財団法人吹田市文化振興事業団（吹田メイシアター）
　豊中市都市活力部文化芸術課
　能勢浄るりシアター
　兵庫県立尼崎青少年創造劇場（ピッコロシアター）
　公益財団法人益富地学会館
助成：平成29年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」
協力：大阪大学 21 世紀懐徳堂

お問い合わせ：〒560 - 0043　大阪府豊中市待兼山町 1-13（大阪大学会館内）
　大阪大学総合学術博物館　文化芸術ファシリテーター育成講座事務局
　yamazaki@museum.osaka-u.ac.jp
お問い合わせフォーム：https://kiogeki.org/contact

記憶の劇場 II

大阪大学総合学術博物館 主催
「記憶の劇場II」―大学博物館を活用する文化芸術ファシリテーター育成プログラム

第1期セミナー

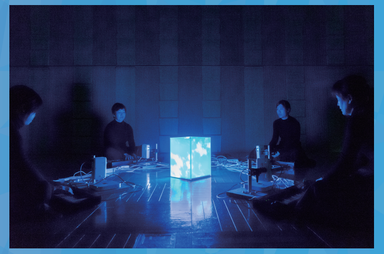
1 「記憶の劇場Ⅱ」オープニング講座

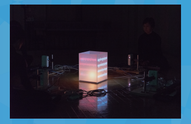
公共施設やミュージアムの持つ今日的な意義と問題を学ぶとともに、海外における公共施設やミュージアムの実際などを知ります。
開催日：2017 年 7 月 22 日(土)
場所：大阪大学豊中キャンパス
講師：永田靖(大阪大学総合学術博物館・大阪大学文学研究科)、伊東信宏(大阪大学文学研究科)、橋爪節也(大阪大学総合学術博物館)、上田貴洋(大阪大学総合学術博物館)、伊藤謙(大阪大学総合学術博物館)、横田洋(大阪大学総合学術博物館・大阪大学文学研究科)、渡辺浩司(大阪大学文学研究科)、古後奈緒子(大阪大学文学研究科)、山﨑達哉(大阪大学総合学術博物館)

第2期活動

1 「記憶の劇場Ⅱ」セミナー「大阪の記憶と未来」・博物館オリエンテーション

大阪大学の拠点である大阪の芸術活動に焦点をあて、文化芸術拠点としての大阪の将来を考察します。また、展覧会「記憶の劇場Ⅱ」の準備として、大学博物館での博物館オリエンテーションやセミナー、博物館実習を行い、博物館展示に必要な技術および知識を養います。
開催日：2017年9月16日(土)
場所：大阪大学豊中キャンパス
講師：菅谷富夫(大阪新美術館建設準備室)、永田靖(大阪大学総合学術博物館・大阪大学文学研究科)、伊東信宏(大阪大学文学研究科)、橋爪節也(大阪大学総合学術博物館)、上田貴洋(大阪大学総合学術博物館)、伊藤謙(大阪大学総合学術博物館)、横田洋(大阪大学総合学術博物館・大阪大学文学研究科)、渡辺浩司(大阪大学文学研究科)、古後奈緒子(大阪大学文学研究科)、山﨑達哉(大阪大学総合学術博物館)





2 地域文化の研究による発信・顕彰とメディアリテラシー

マスコミなどがリードする過度の“ おもしろイメージ ”で語られがちな大阪ですが、ほかの都市にはない歴史や文化的蓄積があることを再認識すべきではないでしょうか。昨年は「中之島」「道頓堀」の二つの地域を探索しましたが、今年は、水都大阪の象徴である「浪華八百八橋」をテーマに、地域史研究者や地域情報誌の編集者もまじえ、中之島から道頓堀に抜ける「水の回廊」と、港湾地区の橋梁を現地取材することによって、自分たち自身の目でとらえた街の姿や魅力を発信顕彰する小冊子の作成をシミュレーションし、その成果を展覧会に発展させます。
開催日：2017年9月10日(日)、9月30日(土)、10月22日(日)、11月か12月に1回
場所：大阪大学中之島センター、道頓堀から乗船、千代崎から乗船、大阪市中央公会堂
講師：中島淳(140B)、橋爪節也(大阪大学総合学術博物館)

3 自然科学に親しむ・触る・アートする ～研究からアートそして発信～

大阪大学総合学術博物館は、文理融合の研究および社会に開かれた活動を行っています。本講座では、自然科学の中にアート的要素を見いだし、それを具現化することで、アートと自然科学の融合を図ります。具体的には、博物館所蔵の化石・鉱物資料を中心に、自然科学の代表的な発信手段である“図鑑”作りに取り組みます。その中で、“図鑑”の変遷や“資料”の撮影法などを学びながら、自然科学とアートとの関係について理解を深めていきます。“図鑑”以外の成果発表として、受講生による展覧会も実施し、社会に広く発信します。
開催日：2017年10月7日(土)、10月15日(日)、10月21日(土)、10月28日(土)、11月11日(土)、11月18日(土)
場所：大阪大学豊中キャンパス、京都造形芸術大学
講師：柴田純生(京都造形芸術大学、立体造形作家)、石橋隆(公益財団法人益富地学会館)、上田貴洋(大阪大学総合学術博物館)、伊藤謙(大阪大学総合学術博物館)

4 三輪眞弘『新しい時代』の再演

三輪眞弘さんのオペラ『新しい時代』(2000 年初演)は、当時話題になった神戸少年殺傷事件、あるいはオウム真理教事件などを連想させながら、ネット上に漂う様々な情報、声からメッセージを受け取り、自死を遂げる 14 歳の少年を主人公とする作品です。声、主体、ウェブ、カルトといった問題は、初演から 15 年以上経った今も新鮮で、むしろ今こそ考えてみなければならないものだと思われます。今年 12 月、愛知と大阪で予定されている、この作品の再演企画に加わり、我々の時代の音楽について考えます。
開催日：2017年10月、11月、12月2日(土)、12月3日(日)、12月8日(金)、12月9日(土)、12月16日(土)
場所：大阪大学豊中キャンパス、IAMAS、愛知県芸術劇場、ザ・フェニックスホール
講師：三輪眞弘(作曲家)、宮地泰史(ザ・フェニックスホール)、藤井明子(愛知県芸術劇場)、伊東信宏(大阪大学文学研究科)

5 パフォーミング・ミュージアム Vol.2 「くるみ座」を上演する

「くるみ座」とは戦後直後の 1946 年に女優毛利菊江によって京都で創設された新劇の劇団です。関西の新劇の源流ともなったこの劇団は 2007 年に解散して今は存在しませんが、この劇団の資料「くるみ座関係資料」が現在大阪大学総合学術博物館に寄託されています。今回はこの資料を使って、演劇史・文芸資料の扱いを実習するとともに、ワークショップやレクチャーなどを通して「くるみ座」と関西新劇の歴史と未来を考察していきます。上演は演出家山口浩章（劇団このしたやみ）が演出します。
開催日：2017年 9 月 9 日(土)、9 月 30 日(土)、10 月 28 日(土)、12 月 16 日(土)・17 日(日)
場所：大阪大学豊中キャンパス、大阪大学中之島センター
講師：山口浩章(劇団このしたやみ)、横田洋(大阪大学総合学術博物館・大阪大学文学研究科)、永田靖(大阪大学総合学術博物館・大阪大学文学研究科)

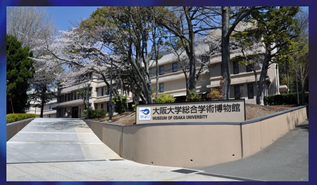
6 旅・芸のTELESOPHIA

上演舞台がある現代とは違い、ほとんどの芸能が旅を伴っている時代がありました。例えば「箱回し」や「人形芝居」などは旅をしながら「門付け」などで演じられていましたが、そのような芸は現代ではそれほど多くは見られなくなりました。伝統をつなぐ阿波木偶箱まわし保存会、新しく人形をつくった能勢人形浄瑠璃鹿角座、途絶えていた芸を再興させた人形芝居えびす座を主な例として、現代の私たちに伝えられている、時間的または空間的に遠い(=TELE)知識やわざ(=SOPHIA)について考えます。
開催日：2017年9月3日(日)、10月14日(土)、12月ほか
場所：大阪大学豊中キャンパス、能勢浄るりシアター
講師：阿波木偶箱まわし保存会、能勢人形浄瑠璃鹿角座、人形芝居えびす座、渡辺浩司(大阪大学文学研究科)、山﨑達哉(大阪大学総合学術博物館)

7 ドキュメンテーション／アーカイヴ

パフォーミングアーツの記録を作成・利用する活動をとおして、地域の多様な文化価値の循環を考えます。vol.1 ではダンスボックスが「下町芸術祭」で演出家の筒井潤と行うプロジェクトで、新長田におけるコリアン・コミュニティの「歴史」「儀式」を通して「人が踊ること」の本質と新たな継承のあり方を考えます。vol.2 では大阪で活動を続けてきた維新派を記録する方法の一つとして、2007 ～ 2009 年に上演した「nostalgia」の上演台本を、維新派の役者によるWSや講義を受けながら、編集し冊子として完成させます。
開催日：vol.1…2017年9月1日(金)、9月8日(金)、10 月(3回程度)ほか　vol.2…2017年7月29日(土)、11月18日(土)、11月26日(日)、12月9日(土)、12月24日(日)、2018年1月14日(日)、2月10日(土)
場所：ArtTheater dB 神戸、新長田、大阪大学中之島センター、江之子島センターほか
講師：筒井潤（dracom）、横堀ふみ（NPO 法人ダンスボックス）、維新派、山口良太（slowcamp）、古後奈緒子（大阪大学文学研究科）

第3期展覧会

1 展覧会「記憶の劇場Ⅱ」

1年間にわたる本事業の総括として各活動の成果を展示という形で公開することで、ミュージアムでの新しい展示の方法を学びます。大学知とミュージアムの理念の融合かつ文理融合的でかつ総合的な芸術ファシリテーターとしての活動成果発表の場でもあります。
会期：2018年2月27日(火)～3月16日(金)（作業期間：2018年2月3日(土)～3月17日(土)）
会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館
＊クロージング・シンポジウム：2018年3月10日(土)、大阪大学豊中キャンパス
講師：永田靖(大阪大学総合学術博物館・大阪大学文学研究科)、伊東信宏(大阪大学文学研究科)、橋爪節也(大阪大学総合学術博物館)、上田貴洋(大阪大学総合学術博物館)、伊藤謙(大阪大学総合学術博物館)、横田洋(大阪大学総合学術博物館・大阪大学文学研究科)、渡辺浩司(大阪大学文学研究科)、古後奈緒子(大阪大学文学研究科)、山﨑達哉(大阪大学総合学術博物館)